

# 香川県中高一貫教育校の在り方検討委員会「報告」について

高 校 教 育 課

本県の中高一貫教育校の今後の在り方について検討するため、PTA関係者、有識者、教育関係者等からなる「香川県中高一貫教育校の在り方検討委員会」を平成16年11月25日に設置しました。検討委員会では、去る6月6日まで6回にわたる審議が行われ、報告書がまとめられたのでお知らせします。

## 報告要旨

### (本県における中高一貫教育の今後の在り方について)

#### 1 特色ある教育活動についての工夫・改善

現在、両中高一貫教育校がねらいとして掲げているコミュニケーション能力や総合的な表現力の育成を、より体系的、効果的に行うためには、学校独自の教科「コミュニケーション」、「表現」と総合的な学習の時間や他の教科との学習内容の連携を図る必要がある。

また、学校行事や部活動における「中高一貫教育校交流行事」を開催するなど、中高一貫教育校全体の魅力を高めるための特色ある行事を開催することが望ましい。

#### 2 教育方針・教育目標と教育活動の自己点検・自己評価の在り方

自己点検・自己評価を進めるに当たっては、適切な規準や項目を設けて行う必要があるが、教育方針・教育目標については、全体を包括する形での現在のものに加えて、具体的でわかりやすい中目標(下位目標)を設定するなど、工夫・改善に努めることが望ましい。

#### 3 生徒の目的意識の高揚と学習意欲の喚起

安定した6年間の学校生活の中で、生徒一人一人が明確な目的意識を持ち、意欲的に学習等に取組めるよう、様々な教育活動において、発達段階に応じた具体的な目標を提示し、その達成状況を適切に評価することが重要である。

また、望ましい勤労観や職業観を養うための系統的なキャリア教育をより一層充実させる必要がある。

#### 4 教員の相互理解と連携強化

定期的な校内研修の実施などを通じて、指導力の向上や教員間での合意形成のための連携をより一層強める必要がある。

#### 5 入学者選抜方法の改善

##### (1) 作文

入学志願者一人一人の中高一貫教育への適性をより多面的、総合的に判断するため、問題を発見し、筋道を立てて考えようとする態度・能力や小学校時代に身に付けた教科横断的な力を見ることができる、作文を含む適性検査を導入することが望ましい。

##### (2) 面接

今後も、現行の方法を継続するのが望ましい。

##### (3) 調査書

今後も、現行の方法を継続するのが望ましい。

##### (4) 抽選

抽選は今後も実施するのが望ましいが、その方法としては、適性が非常に高いと思われる児童については、抽選前にある一定数の入学予定者を確保するという方法を取り入れるのが望ましい。

## 教育委員会の考え方

報告書の趣旨を踏まえ、平成18年度入学者選抜において必要な改善を図るとともに、今後、教育活動全般にわたる充実・改善に努めていくこととしている。